

# 令和1年度 学校評価（自己評価）

## I. はじめに

本年の年度途中における武漢風邪（新型コロナウイルス）の流行により、国・府から、日本中の学校に対して休園（休校）要請が出されました。こういう緊急時において、園児の健康管理がどこまでなされているかについての全職員の意識が最重要であると考え、本年度の学校評価の項目を、「武漢風邪（新型コロナウイルス）の流行に対して、幼稚園としてどのように対処しているか」に決めました。

●以下、目標設定（P） 実行（D） 評価（C） A(改善) の各要素について、学校評価を行う。

## II. 本年度の学校評価の項目として、「武漢風邪（新型コロナウイルス）の流行に対して、幼稚園としてどのように対処しているか」に定めた理由……目標設定（P）

目標設定の意義については、いまさら述べる必要がないと思われる。

そこで、武漢風邪（新型コロナウイルス）流行の時系列での確認をしておきたい。

諸説あるので、現段階で断定できない点もあるが、公約数的なところを確認しておきたいと思う。

- ・2019年11月に発生したといわれているが、それより以前に発生しているという説も多い。
- ・2019年12月には、中国の湖北省武漢市で「原因不明のウイルス性肺炎」として最初の症例が確認されて以降、武漢市内から中国大陸に感染が拡がり、中国以外の国家と地域に拡大していった。
- ・当初、世界保健機関（WHO）の動きは緩慢であったが、2020年1月31日に、「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態（PHEIC）」を宣言し、2月28日には世界規模で流行する危険性について最高レベルの「非常に高い」と評価し、3月11日には「パンデミック相当」との認識を表明した。

## III. 実行（D）

次に日本の動きを確認後、当園の休園措置の推移 並びに 園児の健康管理や園内の衛生状況の確保維持について、実際の行動を観ていきたい。

### ●政府の要請

- ・2020年2月27日は首相の要請 28日はそれを受けて文部科学省が下記の通知を出す  
3月2日から春休みの期間で、全国の小中学校と高校、特別支援学校に、臨時休校の要請
- ・2020年4月7日 首相は緊急事態宣言を発令した  
それに伴い、各学校は5月6日までの臨時休校となった

### ●大阪府の要請

- ・上記の国の要請や宣言に対応するとともに、大阪府は一步踏み込み、幼稚園に対しても休園措置を要請した。

### ●問題点

色々な要請において、国・府ともに、幼稚園と保育所こども園に対する要請が異なる。

3～5歳児に関していえば、同じ年齢であるにもかかわらず、その要請や対応が異なるのは大きな矛盾であり、今後の課題である。

### ●当園の休園要請に対する対応

- ・最初の要請があった中で、3月2日から3月19日までは通常の教育活動を行い、それ以後は休園とした。年度は異なるがその後も休園は引き継がれ、現在は5月6日に至る通過点である。

- ・休園期間においても、次に対応する家庭に対しては預かり保育を実施し、何らかの力になりたいと応援している。

①ひとり親家庭で仕事を休むことが困難な方

②保護者が 医師や看護師などの医療関係、警察・消防・保健所・府市などで今回の出来事に対応されている方、公共交通機関、福祉関係、その他私たちの日常生活を支えるために勤務されている方（すなわち緊急事態措置において休業要請対象以外の仕事に従事されている方で就労の継続が必要な方）

#### ●武漢風邪（新型コロナウイルス）の日本での流行が報じられた際の保健衛生上の意図的な取り組み

上記の事情で登園する園児、保護者、時には業者に対して、下記の配慮を行った。

★**園児一人一人に対する保健衛生上の配慮**（必要に応じ、園児以外にも対応しています）

☆ 登園直後を含め、うがい ハンドソープでの手洗い を励行していきます。

☆ 園の食事時には ハンドソープで手洗した後、次亜塩素酸水ウイレスセブンで消毒しています。

当園で使用しているウイレスセブンは、アルコールの除菌力をUPし次亜塩素酸ナトリウムの安全性即効性をUPした次亜塩素酸水です。最も安全で効果の高いPH6~6.8の弱酸性、60~70ppmになるように、検査紙でチェックしながら 液の調整を行った上で、使用しています。

☆ 登園時に、靴の裏を次亜塩素酸水で消毒します。

☆ 咳が出た時のエチケットについて、十分に話をして、練習もしています。

☆ マスクの使用について 大人でも適正に使用することは、なかなか難易度が高いものです。マスクのある部位を下手に触ると、危険が増す場合があります。それ故マスクの使用は、家庭との連携が必要となります。

☆ 各家庭において、毎朝 検温などの体調管理を十分にされるよう促しています。

そして園からお渡しした健康観察カードに、毎朝記入してもらっています。

☆ もちろん先生の健康管理（健康観察にとどまらず、外出などの行動記録など）もしています。

#### ★**環境面での取り組み**

☆ 部屋の換気に充分気を付け、一日に多数回行っています。換気というより、窓など全開です。

☆ 最新の空気清浄機、フル活動です。

☆ 手を触れる箇所のアルコール消毒の徹底

園内の色々な箇所

- ・玄関の取っ手
- ・階段の手すり
- ・バス内の部品や座席の前の手すり
- ・教室のドア
- ・教室内の机や椅子の背もたれ
- ・トイレのドアやボタン
- ・鉄棒
- ・滑り台の手すりなど遊具全般
- ・ブロックなど消毒が必要と思われる教材など

多くの場所を次亜塩素酸の消毒液で、消毒しています。

#### ★**抵抗力・免疫力を高めるために 基礎体力の養生を**

朝決まった時刻に起き、朝食をとり、幼稚園に行き、友達や先生と力いっぱいに触れ合い、体を動かし運動し、お腹を空かせて家に帰って、モリモリ食べ、入浴し、体を清潔に保ち、睡眠も十分にとる。従来のこのような一定のリズムでの生活が、園児の体力・気力を強め、病気に対する抵抗力をつけていったと思われれます。

現在、国・府から外出自粛要請が出されていますが、それは感染予防の観点から、三密を避ける、人との接触を少なくするという目的です。その目的をはき違えて、じっと家にいることが目的となり、そういう状態が長く続けば、心身ともに健康であるという状態からは遠くなる

と思われます。

保護者に対して、「今は外出の自粛が要請されていますが、時間と場所を選び、人と接触のない環境で、適度な運動を心掛ける必要」について、幼稚園の考え方を発信しています。

★物事は多角的に考え、色々な事象とのバランスをとりながら考えなくてはいけない。

子供の健康・安全を第一に考えるという点に、全く異存はありません。

ただ休園・休校を実施するという事は、幼稚園・学校が子供たちの学ぼうとする人生の時間を奪うということです。

休園は、友達や先生と触れ合いつつ物事を学ぶ機会をなくすということであり、全面休園休校に踏み切る場合、現在の状況はそこまで切迫しているのかという判断が、幼稚園や学校には求められます。(考え方の一面を記しているだけであり、休園そのものを拒否しているわけではありませんので、誤解のないようにと願っています)

以上、「武漢風邪（新型コロナウイルス）の流行に対して、幼稚園としてどのように対処しているか」当園の実行について、具体的に記しました。

#### IV. 評価 (C)

- 色々な要因があろうけれども、現段階で、園児や保護者に感染者が出ていないというのは、素直に評価できることだと考える。
- 時間の経過とともに、ウイルスが 人から人へ感染する という観点以外に、人→もの→人 の感染ルートが着目されてきつつある。  
その点において、前述の 園での環境面での取り組みにおける **徹底した消毒** が、かなりの効果を上げるのではないかと考える。
- 以上より、今回のテーマ **武漢風邪（新型コロナウイルス）の流行に対して、幼稚園としてどのように対処しているか** に関して、現段階においては 充分に対応しているとの自己評価に至った。

#### V. 改善 (A)

- 行動 (D) で述べたことの徹底であると考ええる。
- それとともに、単一の思考に陥ることは避けたい。  
例えば、外出自粛の意味を考えずに取り違え、一切の外出は悪であると考え、時間帯を考慮し周りに人がいない場所をも考慮した上での運動まで否定するような行為に陥ることを避けるように発信する必要があると考える。

まさに 戦前の物理学者で、随筆家 俳人としても知られる寺田寅彦氏の

ものを こわがらな過ぎたり、こわがり過ぎたりするのは やさしいが、  
正当に こわがることは なかなかむづかしい

という言葉を、改善 (A) における反省としたい。

# 令和1年度 学校評価（学校関係者評価）

## I. 最初に

今回、学校関係者委員会に提出された令和1年度の学校評価（自己評価）は、「武漢風邪（新型コロナウイルス）の流行に対して、幼稚園としてどのように対処しているか」についてをテーマとされていました。

学校関係者委員会としての下記の評価に至りましたので、ここに学校関係者評価を提出致します。

## II. 先ずは、自己評価の検証

### (1) テーマ（P 目標設定）

子どもの健康を考えると、今回のテーマほど緊急性のあったものはないと考え、早急に取り上げられたことは非常に適切であると考え、心から賛成いたします。

### (2) 具体的にどのような事をされているか（D 実行）

ここに記されている以外に何かなすべきことがあるかと考えましたが、思いつかないほどでした。

### (3) 実際の私達保護者の（C 評価）

(2)の（D 実行）に記しましたように、「武漢風邪（新型コロナウイルス）の流行に対して、幼稚園としてどのように対処しているか」については、充分にして頂いていると思っています。

「現段階においては 充分に対応しているとの自己評価」を、全面的に肯定いたします。

### (4) A 改善

私達に提示頂いた自己評価から、現在の 保健衛生上の意図的な取り組み を進めていてもらいたいと感じています。

その中で、

★園児一人一人に対する保健衛生上の配慮

★環境面での取り組み

上記のこれら2点については、多くの園でも、されていることだと思います。

しかしながら 下記の2点

★抵抗力・免疫力を高めるために 基礎体力の養生を

★物事は多角的に考え、色々な事象とのバランスをとりながら考えなくてはいけない  
については、私たち保護者にとっては、とても参考になる問いかけでありました。

そういう発信をしてくださることに感謝しつつ、今後ともぜひ願いたく存じます。

## III. 最後に

色々と自己評価を検証してまいりました。

ここに学校関係者評価として、自己評価が適切であるとみとめます。